

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2024年1月11日(11.01.2024)



(10) 国際公開番号

WO 2024/009477 A1

(51) 国際特許分類:
G06Q 10/10 (2012.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2022/027026

(22) 国際出願日: 2022年7月7日(07.07.2022)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人: 日本電信電話株式会社 (NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION) [JP/JP]; 〒1008116 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 Tokyo (JP).

(72) 発明者: 渡辺 昌洋 (WATANABE, Masahiro); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-11 N T T 知的財産センタ内 Tokyo (JP). 松本 猛 (MATSUMOTO, Takeshi); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-11 N T T 知的財産センタ内 Tokyo (JP). 橋本 遼 (HASHIMOTO,

Ryo); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-11 N T T 知的財産センタ内 Tokyo (JP). 赤堀 渉 (AKAHORI, Wataru); 〒1808585 東京都武蔵野市緑町3丁目9-11 N T T 知的財産センタ内 Tokyo (JP).

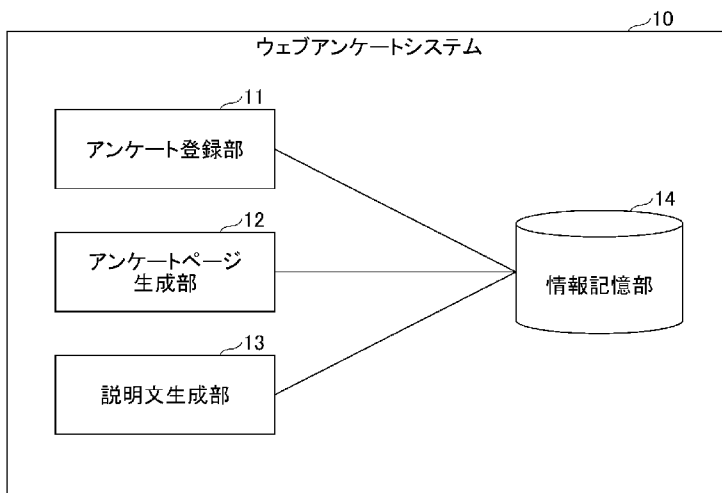
(74) 代理人: 伊東 忠重, 外 (ITO, H, Tadashige et al.); 〒1000005 東京都千代田区丸の内二丁目1番1号 丸の内 M Y P L A Z A (明治安田生命ビル) 16階 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL,

(54) Title: SURVEY EXPLANATION GENERATION DEVICE, SURVEY EXPLANATION GENERATION METHOD, AND PROGRAM

(54) 発明の名称: アンケート説明文生成装置、アンケート説明文生成方法及びプログラム

[図3]



10... WEB SURVEY SYSTEM
11... SURVEY REGISTRATION UNIT
12... SURVEY PAGE GENERATION UNIT
13... EXPLANATION GENERATION UNIT
14... INFORMATION STORAGE UNIT

(57) Abstract: A survey explanation generation device according to the present invention has a registration unit that receives registration of information about each of the one or more questions on a survey, a determination unit that uses the registered information to determine whether each question deals with personal information, and a generation unit that applies the information to different templates depending on whether the questions deal with personal information and thereby generates an explanation for the survey. The survey explanation generation device thereby reduces the burden of creating explanations for surveys.

[続葉有]



PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK,
SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第21条(3))

(57) 要約: アンケート説明文生成装置は、アンケートを構成する1以上の質問ごとに、当該質問に関する情報の登録を受け付けるように構成されている登録部と、前記質問ごとに、登録された前記情報に基づいて個人情報を扱う質問であるか否かを判定するように構成されている判定部と、個人情報を扱う質問であるか否かに応じて異なるテンプレートに前記情報を当てはめて前記アンケートの説明文を生成するように構成されている生成部と、を有することで、アンケートに関する説明文の作成負荷を軽減する。

明 細 書

発明の名称：

アンケート説明文生成装置、アンケート説明文生成方法及びプログラム 技術分野

[0001] 本発明は、アンケート説明文生成装置、アンケート説明文生成方法及びプログラムに関する。

背景技術

[0002] インターネットに接続してアンケートに回答できるウェブアンケートシステムが普及している。ウェブアンケートシステムでは、ウェブコンテンツ技術のラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス等のフォーム要素を使って、アンケートに対する回答を容易に収集することが可能である。

[0003] 従来の紙のアンケートであればアンケート用紙を紛失しない限り情報漏洩の心配は少ない。一方、ウェブアンケートでは、アンケート回答がサーバに蓄積されるのが一般的である。アンケートに回答する人（以下、「アンケート回答者」という。）からすると、自分が回答したデータがどのように扱われるのかが分かりづらくなっている。紙のアンケートであれば、アンケートを行う者（以下、「アンケート実施者」という。）はアンケート回答者の近くにいることが一般的であるため、質問があれば口頭で行うことができる。しかし、ウェブアンケートでは、アンケート回答者はPCなどの情報機器に向かってアンケートに回答していくため、リアルタイムで質問を行うことが難しい。

[0004] そのため、ウェブアンケートでは、アンケート回答データがどのサーバに蓄積され、どのように扱われるかなどをアンケート前に十分に説明することが重要になっている。アンケートに関する問い合わせ先も説明しておく必要がある。そこで、説明書としてのウェブページ（以下、「説明書ページ」という。）をアンケート前に表示して、アンケート回答者に説明文を読んでもらい、アンケート回答者が説明文の内容に同意した場合に、アンケート用の

ウェブページに遷移するといった手順がとられている。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献1：特開 2 0 1 1 － 2 4 8 4 3 6 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0006] ウェブアンケートシステムでは、アンケート前に表示する説明書ページにおいて、アンケート項目によって説明すべき事項が異なる。アンケート項目に関わらず、すべての可能性について説明する説明書を作ることもできるが、非常に膨大な書類となり、アンケート回答者が読んで理解することが難しくなる。

[0007] そのため、必要最低限の説明を説明書に入れるべきであるが、どのような説明が必要で、どのような説明が不要であるのかを判断するのが難しく、十分に説明するための説明書を作るのに手間がかかるという問題があった。さらに、どのような説明が必要であり、どのような説明は不要であるかを判断ができていても、ケアレスミスで説明すべき説明が省かれてしまう可能性があった。

[0008] また、個人情報を取得する場合には、個人情報保護法などにより、個人情報の取り扱いについて十分に説明することが求められている。説明書は、アンケート実施者が作成することになるが、個人情報に配慮した説明を書くためには専門の知識が必要になる。そのため、アンケート実施者以外の、個人情報の専門家に修正してもらったりする必要があり、説明書を書くのに手間がかかるという問題があった。

[0009] 本発明は、上記の点に鑑みてなされたものであって、アンケートに関する説明文の作成負荷を軽減することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0010] そこで上記課題を解決するため、アンケート説明文生成装置は、アンケー

トを構成する１以上の質問ごとに、当該質問に関する情報の登録を受け付けるように構成されている登録部と、前記質問ごとに、登録された前記情報に基づいて個人情報を扱う質問であるか否かを判定するように構成されている判定部と、個人情報を扱う質問であるか否かに応じて異なるテンプレートに前記情報を当てはめて前記アンケートの説明文を生成するように構成されている生成部と、を有する

発明の効果

[0011] アンケートに関する説明文の作成負荷を軽減することができる。

図面の簡単な説明

[0012] [図1]第１の実施の形態のシステム構成例を示す図である。

[図2]第１の実施の形態におけるウェブアンケートシステム１０のハードウェア構成例を示す図である。

[図3]第１の実施の形態におけるウェブアンケートシステム１０の機能構成例を示す図である。

[図4]第１の実施の形態においてウェブアンケートシステム１０が実行する処理手順の一例を説明するためのフローチャートである。

[図5]取得データ取り扱い方法登録ページの一例を示す図である。

[図6]取得データ取り扱い方法データの構成例を示す図である。

[図7]第１の実施の形態において質問１に対応するアンケート項目登録ページの一例を示す図である。

[図8]第１の実施の形態において質問２に対応するアンケート項目登録ページの一例を示す図である。

[図9]第１の実施の形態において質問６に対応するアンケート項目登録ページの一例を示す図である。

[図10]アンケートページの一例を示す図である。

[図11]第１の実施の形態におけるアンケート項目データの構成例を示す図である。

[図12]個人情報用アンケート説明書テンプレートの一例を示す図である。

[図13]第1の実施の形態において個人情報を取り扱う場合のアンケート説明書ページの一例を示す図である。

[図14]一般情報用アンケート説明書テンプレートの一例を示す図である。

[図15]第1の実施の形態において個人情報を取り扱わない場合のアンケート説明書ページの一例を示す図である。

[図16]第2の実施の形態において質問1に対応するアンケート項目登録ページの一例を示す図である。

[図17]第2の実施の形態において質問2に対応するアンケート項目登録ページの一例を示す図である。

[図18]個人情報判別用のキーワードの一例を示す図である。

[図19]第2の実施の形態におけるアンケート項目データの構成例を示す図である。

[図20]第2の実施の形態において個人情報を取り扱う場合のアンケート説明書ページの一例を示す図である。

[図21]個人情報判断基準の一例を示す図である。

[図22]第3の実施の形態において質問2に対応するアンケート項目登録ページの一例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0013] 本実施の形態では、アンケートを構成するアンケート項目（質問の内容）が登録されると、登録内容に対応する説明文が生成される。例えば、個人情報を尋ねるアンケート項目が有れば、個人情報の扱いに関する説明文が生成される。その結果、アンケートに加冠する説明文の作成の手間を省くことができる。なお、アンケート項目とは、アンケートを構成する質問と1対1に対応する概念である。

[0014] 以下、図面に基づいて本発明の実施の形態を説明する。図1は、第1の実施の形態のシステム構成例を示す図である。図1において、実施者端末20と、回答者端末30a及び回答者端末30e等を含む1以上の回答者端末30は、LAN（Local Area Network）又はインターネット等のネットワーク

N 1 を介してウェブアンケートシステム 1 0 に接続する。

[0015] 実施者端末 2 0 は、アンケートの実施者が利用する端末である。アンケート実施者は、実施者端末 2 0 を介して、アンケート項目等をウェブアンケートシステム 1 0 に入力する。本実施の形態において、アンケート実施者は、アンケートの作成を行う。

[0016] ウェブアンケートシステム 1 0 は、ウェブサーバとしての機能を利用して、アンケート実施者によって入力された情報に応じたアンケート用のウェブページ（以下、「アンケートページ」という。）の生成等を行う 1 以上のコンピュータである。ウェブアンケートシステム 1 0 は、また、アンケートページを介してアンケートを構成する質問に対する回答を収集する。ウェブアンケートシステム 1 0 は、更に、実施者端末 2 0 から入力されたアンケート項目に基づいてアンケートの説明書における説明文を生成する。

[0017] 回答者端末 3 0 a 及び回答者端末 3 0 e（以下、それぞれを区別しない場合「回答者端末 3 0」という。）は、アンケートの回答者が利用する端末である。回答者端末 3 0 a は回答者 a によって利用され、回答者端末 3 0 e は回答者 e によって利用される。図 1 では、便宜上、回答者端末 3 0 は 2 台であるが、回答者端末 3 0 は 1 台であってもよいし、3 台以上であってもよい。各回答者端末 3 0 は、ウェブアンケートシステム 1 0 によって生成されるアンケートページを表示し、アンケートページを介してアンケートを構成する質問に対する回答の入力を受け付ける。

[0018] なお、P C（Personal Computer）、タブレット端末又はスマートフォン等が、実施者端末 2 0 及び回答者端末 3 0 として利用されてもよい。

[0019] 図 2 は、第 1 の実施の形態におけるウェブアンケートシステム 1 0 のハードウェア構成例を示す図である。図 2 のウェブアンケートシステム 1 0 は、それぞれバス B で相互に接続されているドライブ装置 1 0 0、補助記憶装置 1 0 2、メモリ装置 1 0 3、プロセッサ 1 0 4、及びインタフェース装置 1 0 5 等を有する。

[0020] ウェブアンケートシステム 1 0 での処理を実現するプログラムは、C D－

R O M等の記録媒体 1 0 1 によって提供される。プログラムを記憶した記録媒体 1 0 1 がドライブ装置 1 0 0 にセットされると、プログラムが記録媒体 1 0 1 からドライブ装置 1 0 0 を介して補助記憶装置 1 0 2 にインストールされる。但し、プログラムのインストールは必ずしも記録媒体 1 0 1 より行う必要はなく、ネットワークを介して他のコンピュータよりダウンロードするようにしてもよい。補助記憶装置 1 0 2 は、インストールされたプログラムを格納すると共に、必要なファイルやデータ等を格納する。

[0021] メモリ装置 1 0 3 は、プログラムの起動指示があった場合に、補助記憶装置 1 0 2 からプログラムを読み出して格納する。プロセッサ 1 0 4 は、C P U 若しくは G P U (Graphics Processing Unit)、又は C P U 及び G P U であり、メモリ装置 1 0 3 に格納されたプログラムに従ってウェブアンケートシステム 1 0 に係る機能を実行する。インタフェース装置 1 0 5 は、ネットワークに接続するためのインタフェースとして用いられる。

[0022] 図 3 は、第 1 の実施の形態におけるウェブアンケートシステム 1 0 の機能構成例を示す図である。図 3 において、ウェブアンケートシステム 1 0 は、アンケート登録部 1 1、アンケートページ生成部 1 2 及び説明文生成部 1 3 を有する。

[0023] これら各部は、ウェブアンケートシステム 1 0 にインストールされた 1 以上のプログラムが、プロセッサ 1 0 4 に実行させる処理により実現される。ウェブアンケートシステム 1 0 は、また、情報記憶部 1 4 を利用する。情報記憶部 1 4 は、例えば、補助記憶装置 1 0 2、又はウェブアンケートシステム 1 0 にネットワークを介して接続可能な記憶装置等を用いて実現可能である。

[0024] 以下、ウェブアンケートシステム 1 0 が実行する処理手順について説明する。図 4 は、第 1 の実施の形態においてウェブアンケートシステム 1 0 が実行する処理手順の一例を説明するためのフローチャートである。第 1 の実施の形態において、ウェブアンケートシステム 1 0 は、アンケートの作成時においてアンケート項目が設定される際に、アンケート実施者（以下、「ユー

ザ」という。)によって入力される情報種別(個人情報を扱うか否か)に基づいて個人情報の取り扱いの有無を判定して、判定結果に応じた説明文を生成する。

[0025] ユーザが実施者端末20を使ってネットワークN1を介してウェブアンケートシステム10のURLにアクセスすると、アンケート登録部11は、情報記憶部14に記憶されている、取得データの取り扱い方法の登録用のウェブページ(以下、「取得データ取り扱い方法登録ページ」という。)を実施者端末20へ送信する(S101)。実施者端末20は、当該取得データ取り扱い方法登録ページを表示する。取得データとは、アンケートによって、アンケート回答者から取得されるデータをいう。

[0026] 図5は、取得データ取り扱い方法登録ページの一例を示す図である。図5に示されるように、取得データ取り扱い方法登録ページ510では、案件名、サーバ種別、責任者、問い合わせ先、取得データ保持期限、取得データの利用の範囲等の項目についてデータの入力が可能である。

[0027] 案件名とは、アンケートの名称である。サーバ種別は、取得データが保持されるサーバの種別である。責任者は、取得データの管理について責任を有する者である。問い合わせ先は、アンケートや取得データに関する問い合わせ先のアドレス情報(例えば、URL等)である。取得データ保持期限は、取得データが保持される期限である。取得データの利用の範囲とは、取得データが利用される範囲である。

[0028] ユーザが、これらの項目に対するデータを入力し、「登録」ボタン511を押下すると、実施者端末20は入力されたデータを含む登録要求をウェブアンケートシステム10へ送信する。アンケート登録部11は、当該登録要求を受信すると、当該登録要求に含まれるデータ(以下、「取得データ取り扱い方法データ」という。)を情報記憶部14に記録する(S102)。

[0029] 図6は、取得データ取り扱い方法データの構成例を示す図である。図6における1行が1つの取得データ取り扱い方法データである。したがって、図6には、複数の取得データ取り扱い方法データが示されているが1回のステ

ップS 1 0 2の実行によって1つの取得データ取り扱い方法データが記録される。図6に示されるように、取得データ取り扱い方法データは、案件番号、案件名、サーバ種別、責任者、問い合わせ先、取得データ保持期限、取得データの利用の範囲等の項目を含む。案件番号は、アンケートごとに割り当てられる番号である。例えば、案件番号は、アンケート登録部11が情報記憶部14に取得データ取り扱い方法データを記録する際に付与してもよい。その他の項目は、図5において説明した通りである。

[0030] ここでは、案件番号1の「製品Aに関するアンケート調査」に関するアンケート（以下、「対象アンケート」という。）の取得データの取り扱い方法データが記録された場合について説明する。

[0031] 続いて、アンケート登録部11は、対象アンケートを構成するアンケート項目を登録させるべく、アンケート項目登録ページを実施者端末20へ送信する（S 1 0 3）。ステップS 1 0 3が初めて実行される場合、1番目のアンケート項目（すなわち、1番目の質問（以下、「質問1」という。））に対応するアンケート項目登録ページが送信される。実施者端末20は、当該アンケート項目登録ページを表示する。

[0032] 図7は、第1の実施の形態において質問1に対応するアンケート項目登録ページの一例を示す図である。図7に示されるように、アンケート項目登録ページ520-1では、質問文、情報種別、個人情報種別、選択肢数、回答形式、及び各選択肢を入力可能である。

[0033] 質問文は、対象とするアンケート項目の質問を示す文である。情報種別は、当該アンケート項目の回答として求められる情報が個人情報であるか否か（一般情報であるか）を示す項目である。個人情報種別は、情報種別が個人情報である場合に、当該個人情報の種別を示す文字列（氏名、年齢、出身地、現住所等）である。

[0034] 選択肢数は、当該回答の選択肢の数である。回答形式は、質問文に対応する回答の形式が、単数選択、複数選択、自由記述のいずれであるのかを示す項目である。単数選択とは、1つの選択肢を選択する回答形式をいう。複数

選択とは、複数の選択肢を選択する回答形式をいう。自由記述は、選択肢の選択ではなく、自由な記述（文字列の入力）による回答形式をいう。自由記述の場合、選択肢数及び選択肢の入力領域は無効である。選択肢は、回答の選択肢である。例えば、選択肢数に0が入力されると、選択肢1～5は必要なくなるので選択肢の入力不可とされてもよい。

[0035] ユーザは、質問1が個人情報の提供を求めているか否かを判断し、判断結果に基づいて、情報種別を選択する。質問1が個人情報の提供を求めている場合、ユーザは、情報種別において「個人情報」を選択する。ユーザが「個人情報」を選択した場合、個人情報種別の入力が可能となるため、ユーザは、個人情報種別を入力する。図7の例では、質問文が氏名を聞いており、アンケート回答者に氏名を入力させるため、個人情報種別に「氏名」が入力されている。

[0036] アンケート項目登録ページ520-1への入力が完了し、ユーザが「次の質問」ボタン521を押下すると、実施者端末20は、アンケート項目登録ページ520-1に対して入力された登録データを含む、次へ要求をウェブアンケートシステム10へ送信する。アンケート登録部11は、次へ要求を受信すると（S104でN）、当該次へ要求に含まれている登録データを情報記憶部14に記録しておく。続いて、アンケート登録部11は、直前に表示されていたアンケート項目登録ページに対応するアンケート項目（以下、「対象アンケート項目」という。）の次のアンケート項目（次の質問）に関するアンケート項目登録ページを実施者端末20へ送信する（S103）。実施者端末20は、当該アンケート項目登録ページを表示する。

[0037] 例えば、対象アンケート項目が質問1に対応するアンケート項目であった場合、ステップS103では、図8に示されるように、質問2に対応するアンケート項目登録ページ520-2が送信される。また、対象アンケート項目が質問5に対応するアンケート項目であった場合、ステップS103では、図9に示されるように、質問6に対応するアンケート項目登録ページ520-6が送信される。図8及び図9において、図7と同じ機能のボタンには

同じ符号が付されている。

[0038] アンケート項目登録ページ520-1（図7）は、最初の質問である質問1に対応するところ、質問1より前の質問は存在しない。一方、質問2や質問6には前の質問（質問1又は質問5）が存在する。したがって、アンケート項目登録ページ520-2（図8）及びアンケート項目登録ページ520-3（図9）は、前の質問（アンケート項目）へ戻るための「前の質問」ボタン523を含む。なお、質問6では個人情報情報は求めているため、アンケート項目登録ページ520-6（図9）の情報種別では「一般情報」が選択されている。その結果、個人情報種別は入力できないようになっている。また、アンケート項目登録ページ520-6（図9）において、選択肢数には4が入力されているため、選択肢5は入力できないようになっている。

[0039] なお、アンケート項目登録ページ520-1、510-2及び510-6や、他の質問に対応するアンケート項目登録ページを区別しない場合、「アンケート項目登録ページ520」という。

[0040] アンケート項目が登録される過程において順番に表示されるアンケート項目登録ページ520のいずれかにおいて、ユーザが「終了」ボタン522を押下すると、実施者端末20は、表示中のアンケート項目登録ページ520に入力された登録データを含む終了要求をウェブアンケートシステム10へ送信する。アンケート登録部11が、当該終了要求を受信すると（S104でYes）、アンケート登録部11は、当該終了要求に含まれる登録データを情報記憶部14に記録する。

[0041] 続いて、アンケートページ生成部12は、情報記憶部14に記録された登録データ群に基づいてアンケートページを生成する。HTMLを利用する場合、アンケートページは、例えば、form要素を使って生成することができる。質問1は自由記述の質問なので、アンケートページ生成部12は、input要素のtype属性にtextを指定する。質問2及び質問6は単数選択の質問なので、ラジオボタンで選択させるために、アンケートページ生成部12は、input要素のtype属性にradioを指定する。複

数選択の質問の場合、チェックボックスで選択させるために、アンケートページ生成部12は、input要素のtype属性にcheckboxを指定する。なお、一般のCMS（Content Management System）の技術を使うことで、登録データ群をウェブページのテンプレートに入れ込むことでアンケートページを生成することができる。

[0042] アンケートページ生成部12は、生成したアンケートページを実施者端末20へ送信する（S105）。実施者端末20は、当該アンケートページを表示する。

[0043] 図10は、アンケートページの一例を示す図である。図10に示されるように、アンケートページ530は、登録された各アンケート項目（質問）に対する回答を入力させるためのウェブページである。ユーザは、アンケートページ530を参照することで、所望のアンケートページが生成されるか否かを確認することができる。

[0044] アンケートページ530を参照したユーザが「修正」ボタン532を押下すると、実施者端末20は、修正要求をウェブアンケートシステム10へ送信する。ウェブアンケートシステム10は、修正要求を受信すると（S106でNo）、ステップS103以降を繰り返す。したがって、この場合、ユーザは、一部又は全部のアンケート項目（質問）について修正することができる。

[0045] 一方、アンケートページ530を参照したユーザが「登録」ボタン531を押下すると、実施者端末20は、登録要求をウェブアンケートシステム10へ送信する。アンケート登録部11は、登録要求を受信すると（S106でYes）、登録データ群をまとめたアンケート項目データを情報記憶部14に保存する（S107）。

[0046] 図11は、第1の実施の形態におけるアンケート項目データの構成例を示す図である。図11に示されるように、アンケート項目データは、アンケート項目（質問）ごとに、項目番号、質問文、情報種別、個人情報種別、選択肢数、回答形式、及び選択肢1～5を含む。これらのうち、項目番号以外の

項目については、図 7 において説明した通りである。項目番号は、アンケート項目（質問）の識別番号である。

[0047] なお、アンケート項目登録ページ 520 が利用されずにアンケート項目データが生成されてもよい。例えば、エディタを用いて図 11 のアンケート項目データが直接的に入力されてもよい。

[0048] 続いて、説明文生成部 13 は、対象アンケートの説明書としてのウェブページ（以下、「アンケート説明書ページ」という。）を生成するための処理を実行する。

[0049] まず、説明文生成部 13 は、対象アンケートについて、個人情報の取り扱いが有るか否かを判定する（S108）。具体的には、説明文生成部 13 は、アンケート項目データ（図 11）において情報種別の値が「個人情報」であるアンケート項目が一つでも有れば、対象アンケートに個人情報の取り扱いが有ると判定し、そうでなければ、対象アンケートに個人情報の取り扱いは無いと判定する。

[0050] 対象アンケートに個人情報の取り扱いが有る場合（S108でYes）、説明文生成部 13 は、アンケート項目データ（図 11）から、いずれかのアンケート項目の個人情報種別として記録されている値のリスト（重複の無いリスト）を取得する（S109）。図 11 の例において、当該リスト（以下、「個人情報種別リスト」という。）は、氏名、年齢、性別、出身地、現住所の 5 つの要素を含む。

[0051] 続いて、説明文生成部 13 は、個人情報を扱う場合のアンケート説明書ページのテンプレート（以下、「個人情報用アンケート説明書テンプレート」という。）を情報記憶部 14 から取得し、個人情報用アンケート説明書テンプレートに取得データ取り扱い方法データ（図 6）及びアンケート項目データ（図 11）を当てはめることで、アンケート説明書ページを（の説明文）生成する（S110）。

[0052] 図 12 は、個人情報用アンケート説明書テンプレートの一例を示す図である。図 12 の個人情報用アンケート説明書テンプレートにおいて、[] で囲

まれた部分（以下、「[XXX]」と表記する。）は、対象アンケートの取得データ取り扱い方法データ（図6）又はアンケート項目データ（図11）に基づいて値（文字列）が代入される（置換される）部分（箇所）である。

[XXX]において「XXX」は、取得データ取り扱い方法データ（図6）又はアンケート項目データ（図11）において、代入される（置換される）値を含む項目の名前である。すなわち、[XXX]は、取得データ取り扱い方法データ（図6）又はアンケート項目データ（図11）において項目名が「XXX」である項目の値によって置換される。

[0053] 例えば、説明文生成部13は、図12において「サーバ種別」という部分を、取得データ取り扱い方法データ（図6）において対象アンケート（案件1）の「サーバ種別」の値である「弊社が管理する国内サーバ」という文字列によって置換する。

[0054] また、説明文生成部13は、図12において「個人情報種別（1）」という部分を、個人情報種別リストの1番目の個人情報種別によって置換する。すなわち、「個人情報種別（1）」のうちの（1）は、個人情報種別リストにおいて1番目の個人情報種別を示す。図11において、情報種別が個人情報であるアンケート項目は、項目番号1～5の5つである。個人情報種別リストにおける並び順は、この項目番号の順序に従う。したがって、個人情報種別（1）は、「氏名」である。よって、説明文生成部13は、「個人情報種別（1）」を「氏名」によって置換する。

[0055] 同様に、説明文生成部13は、図12の「個人情報種別（2）」、「個人情報種別（3）」、「個人情報種別（4）」、「個人情報種別（5）」のそれぞれを、「年齢」、「性別」、「出身地」、「現住所」によって置換する。

[0056] また、説明文生成部13は、図12の「取得データ保持期限」、「責任者」、「取得データの利用の範囲」、「問い合わせ先」を、取得データ取り扱い方法データ（図6）において案件1の「取得データ保持期限」、「責任者」、「取得データの利用の範囲」、「問い合わせ先」の値によって置換する。

。すなわち、[取得データ保持期限]、[責任者]、[取得データの利用の範囲]、[問い合わせ先]は、順番に、「2025年3月31日」、「〇〇□□」、「お答えいただきました内容は、弊社の製品の改善のために利用いたします。それ以外の目的には利用いたしません。」、「XXX@xx.jp」によって置換される。

[0057] 上記の結果として生成されるアンケート説明書ページの一例を図13に示す。説明文生成部13は、生成したアンケート説明書ページを情報記憶部14に保存しておく。

[0058] 対象アンケートが実施される場合には、まず、アンケート説明書ページ（図13）が回答者端末30へ送信される。アンケート回答者は、回答者端末30が表示するアンケート説明書ページ（図13）を参照する。アンケート回答者は、アンケート説明書ページ（図13）の内容に同意する場合は「同意する」ボタンを押下する。その場合、図10に示したアンケートページが回答者端末30に表示される。その結果、アンケート回答者は、アンケートに回答することができる。

[0059] 一方、対象アンケートに個人情報の取り扱いが無い場合（S108でNo）、説明文生成部13は、個人情報を取り扱わない場合のアンケート説明書ページのテンプレート（以下、「一般情報用アンケート説明書テンプレート」という。）を情報記憶部14から取得し、一般情報用アンケート説明書テンプレートに基づいて、アンケート説明書ページ（の説明文）を生成する（S111）。

[0060] 図14は、一般情報用アンケート説明書テンプレートの一例を示す図である。図14において、[]で囲まれた部分の意味は、図12と同じである。

[0061] ここでは、図6の案件番号2のアンケート説明書ページを生成する場合について説明する。説明文生成部13は、図14における[サーバ種別]、[取得データの利用の範囲]、[問い合わせ先]を、取得データ取り扱い方法データ（図6）において案件番号2の「サーバ種別」、「取得データの利用の範囲」、「問い合わせ先」の値で置換する。その結果として生成されるア

ンケート説明書ページの一例を図 15 に示す。説明文生成部 13 は、生成したアンケート説明書ページを情報記憶部 14 に保存しておく。

[0062] 上述したように、第 1 の実施の形態によれば、ユーザが各アンケート項目に対して情報種別及び個人情報種別を入力すれば、ウェブアンケートシステム 10 が、アンケートの説明文を自動的に生成してくれる。この際、個人情報の扱いの有無によって異なるテンプレートが利用されるため、個人情報の扱いの有無に応じて適切な説明文が生成される。したがって、アンケートに関する説明文の作成負荷を軽減することができる。

[0063] 次に、第 2 の実施の形態について説明する。第 2 の実施の形態では第 1 の実施の形態と異なる点について説明する。第 2 の実施の形態において特に言及されない点については、第 1 の実施の形態と同様でもよい。

[0064] 第 2 の実施の形態では、ユーザが個人情報の取り扱いの有無を入力しなくても、ウェブアンケートシステム 10 が個人情報の取り扱いの有無を自動的に判定する。

[0065] 第 2 の実施の形態においてウェブアンケートシステム 10 が実行する処理手順は、便宜上、図 4 を用いて説明する。

[0066] ステップ S 101 ～ S 106 は、第 1 の実施の形態と同様である。但し、ステップ S 102 において送信及び表示されるアンケート項目登録ページ 520 の構成が第 1 の実施の形態と異なる。例えば、質問 1 に関しては、図 16 に示されるアンケート項目登録ページ 520 a-1 が送信及び表示される。質問 2 に関しては、図 17 に示されるアンケート項目登録ページ 520 a-2 が送信及び表示される。以下、アンケート項目登録ページ 520 a-1 及びアンケート項目登録ページ 520 a-2 や、第 2 の実施の形態においてその他の質問に対応するアンケート項目登録ページを区別しない場合、「アンケート項目登録ページ 520 a」という。

[0067] 図 16 及び図 17 のアンケート項目登録ページ 520 a は、情報種別及び個人情報種別を入力するための領域を有さない点において、第 1 の実施の形態におけるアンケート項目登録ページ 520 (図 7、図 8、図 9) と異なる

。

[0068] ステップS 1 0 7において、アンケート登録部 1 1は、アンケート項目登録ページ5 2 0 aを介してアンケート項目ごとに入力された各登録データの質問文に所定のキーワードが含まれているか否かに基づいて、アンケート項目ごとに個人情報の取り扱いの有無を判定する。所定のキーワードとは、個人情報の取り扱いの有無を判別するためのキーワードであり、例えば、予め情報記憶部 1 4に登録されている。

[0069] 図 1 8は、個人情報判別用のキーワードの一例を示す図である。図 1 8には8つのキーワードが登録されている例が示されている。各キーワードには、重要度が対応付けられている。重要度とは、個人情報としての重要な度合いである。例えば、個人を特定できる可能性の高さに応じて重要度が決められてもよい。

[0070] 例えば、図 1 6によれば、質問 1の質問文は「氏名を教えてください。」である。当該質問文において、「氏名」は、キーワードである。したがって、アンケート登録部 1 1は、質問 1に対応する登録データに対して、個人情報であることを示す情報種別と、「氏名」に対応付けられている重要度とを付与する。アンケート登録部 1 1は、また、「氏名」を個人情報種別として当該登録データに付与する。すなわち、キーワードがそのまま個人情報種別となる。アンケート登録部 1 1は、各登録データに対して同様の処理を行った上で、アンケート項目データを情報記憶部 1 4に保存する。その結果、第 2の実施の形態では、ステップS 1 0 7において、図 1 9に示されるようなアンケート項目データが保存される。

[0071] 図 1 9に示されるように、第 2の実施の形態におけるアンケート項目データは、重要度の列を含む点において図 1 1と異なる。

[0072] ステップS 1 0 9において、説明文生成部 1 3は、個人情報種別リストを取得する際に、重要度の降順に個人情報種別を並べる。例えば、氏名、年齢、性別、現住所、出身地の順に並べられる。

[0073] したがって、ステップS 1 1 0では、重要度の高い個人情報種別から順に

、アンケート説明書テンプレート（図 12）の「個人情報種別（N）」（N は、1, 2, 3, ...）に対して適用される。その結果、図 20 に示されるようなアンケート説明書ページが生成される。

[0074] 上述したように、第 2 の実施の形態では、情報種別及び個人情報種別の入力負担からユーザを解放することができる。

[0075] 次に、第 3 の実施の形態について説明する。第 3 の実施の形態では第 1 又は第 2 の実施の形態と異なる点について説明する。第 3 の実施の形態において特に言及されない点については、第 1 又は第 2 の実施の形態と同様でもよい。

[0076] 第 3 の実施の形態において、ウェブアンケートシステム 10 は、選択肢数に基づいて個人情報の扱いの有無を判定する。第 3 の実施の形態においてウェブアンケートシステム 10 が実行する処理手順は、図 4 に示した通りでよい。

[0077] アンケート項目登録ページ 520-2（図 8）やアンケート項目登録ページ 520a-2（図 17）では、年齢について、5 つの選択肢が用いられている。年齢について尋ねる場合、年齢を自由記述で入力させると、アンケート回答者の年齢を正確に把握できる。一方、選択肢により、年代などで回答させると、詳しい年齢が把握できなくなるが、個人を特定できる情報ではなくなる可能性がある。どこからが個人情報に該当するかは、アンケート実施者の考え方の他に、その時点の法律なども関連する。したがって、本実施の形態では、個人情報であるか否かの境界については、予め設定されることで、ウェブアンケートシステム 10 が判断できるようにしておく。例えば、図 21 に示されるような個人情報判断基準が情報記憶部 14 に予め記憶される。

[0078] 図 21 において、各行は一つの個人情報判断基準に相当する。各個人情報判断基準は、扱う情報及び回答形式の組に応じて、選択肢数に基づいて個人情報を扱うか否か（すなわち、情報種別）を判断するための情報である。扱う情報は、質問によって取得する情報である。

- [0079] ステップS 1 0 7において、説明文生成部 1 3は、個人情報判断基準（図 2 1）に基づいて、各アンケート項目について個人情報を扱うか否かを判定する。例えば、図 1 7の質問2のように5つの選択肢を用いて年齢を尋ねる場合は、図 2 1の項目番号2に該当する。この場合、説明文生成部 1 3は、質問2に係るアンケート項目は個人情報を扱うと判定する。
- [0080] 仮に、年齢を尋ねる質問2の回答形式が図 2 2のように自由記述として設定されると、質問2に係るアンケート項目は、図 2 1の項目番号1に該当する。したがって、この場合も、説明文生成部 1 3は、質問2に係るアンケート項目は個人情報を扱うと判定する。
- [0081] 一方、年齢を尋ねる場合に成人か未成年かなど2つの選択肢が用いられるアンケート項目は、図 2 1の項目番号3の場合に該当する。この場合、説明文生成部 1 3は、当該アンケート項目は、個人情報ではなく一般情報を扱うと判定する。このように、選択肢数等に基づいて、個人情報を扱うか否かを判定することができる。
- [0082] 説明文生成部 1 3は、個人情報を扱うと判定したアンケート項目に対応する登録データに対して、個人情報を示す情報種別を付与し、当該アンケート項目に合致した個人情報判断基準（図 2 1）の扱う情報の文字列を個人情報種別として付与する。その結果、図 1 1に示したようなアンケート項目データが情報記憶部 1 4に保存される。
- [0083] 又は、説明文生成部 1 3は、第2の実施の形態と同様に、図 1 8のような情報を用いて、当該個人情報種別に対応する重要度を当該登録データに更に付与してもよい。この場合、図 1 9に示したようなアンケート項目データが情報記憶部 1 4に保存される。
- [0084] ステップS 1 0 8以降は、第1又は第2の実施の形態と同様でよい。
- [0085] なお、上記各実施の形態において、ウェブアンケートシステム 1 0は、アンケート説明文生成装置の一例である。アンケート登録部 1 1は、登録部の一例である。アンケート登録部 1 1又は説明文生成部 1 3は、判定部の一例である。説明文生成部 1 3は、生成部の一例である。

[0086] 以上、本発明の実施の形態について詳述したが、本発明は斯かる特定の実施形態に限定されるものではなく、請求の範囲に記載された本発明の要旨の範囲内において、種々の変形・変更が可能である。

符号の説明

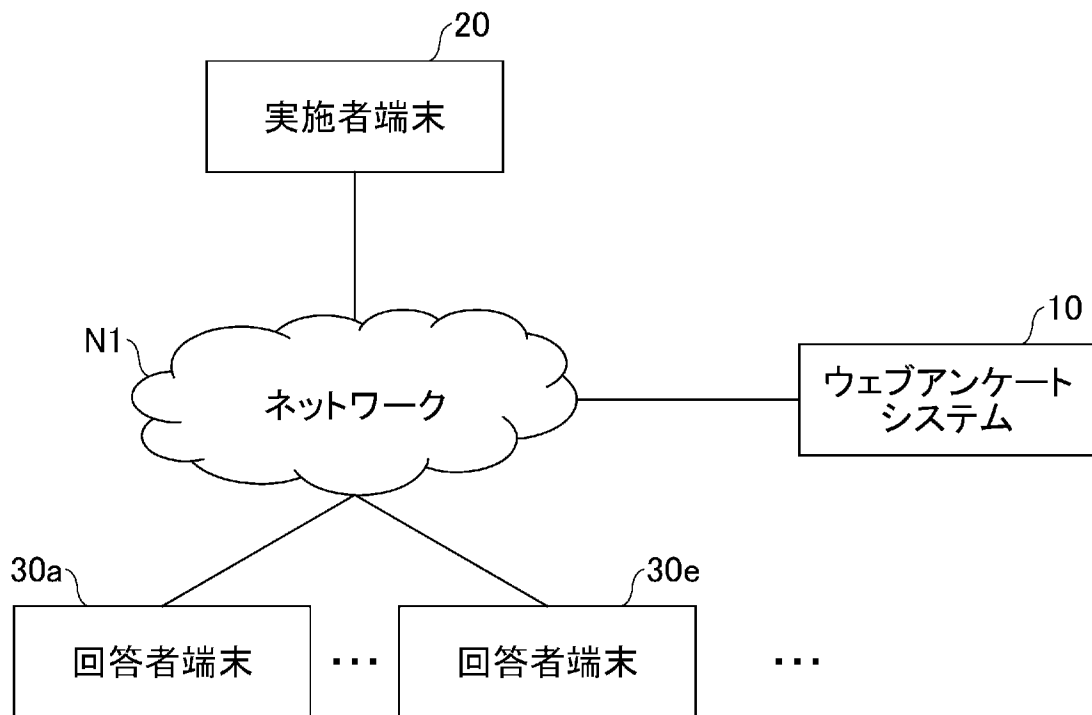
[0087]	1 0	ウェブアンケートシステム
	1 1	アンケート登録部
	1 2	アンケートページ生成部
	1 3	説明文生成部
	1 4	情報記憶部
	2 0	実施者端末
	3 0 a	回答者端末
	3 0 e	回答者端末
	1 0 0	ドライブ装置
	1 0 1	記録媒体
	1 0 2	補助記憶装置
	1 0 3	メモリ装置
	1 0 4	プロセッサ
	1 0 5	インタフェース装置
	B	バス

請求の範囲

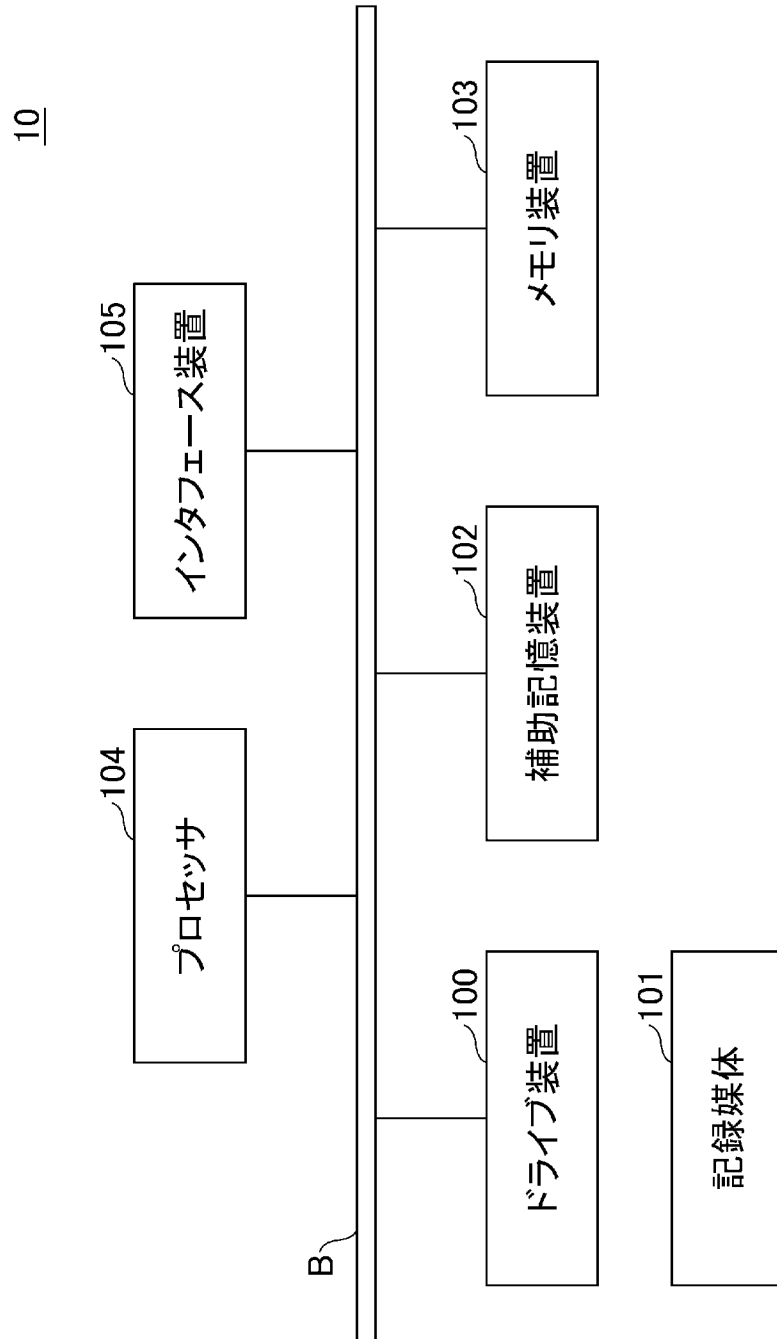
- [請求項1] アンケートを構成する1以上の質問ごとに、当該質問に関する情報の登録を受け付けるように構成されている登録部と、
- 前記質問ごとに、登録された前記情報に基づいて個人情報を扱う質問であるか否かを判定するように構成されている判定部と、
- 個人情報を扱う質問であるか否かに応じて異なるテンプレートに前記情報を当てはめて前記アンケートの説明文を生成するように構成されている生成部と、
- を有することを特徴とするアンケート説明文生成装置。
- [請求項2] 前記登録部は、前記質問ごとに、当該質問が個人情報を扱うか否かを示す情報の登録を受け付けるように構成されている、
- ことを特徴とする請求項1記載のアンケート説明文生成装置。
- [請求項3] 前記判定部は、前記質問ごとに、当該質問に関して登録された前記情報に所定のキーワードが含まれているか否かに基づいて個人情報を扱う質問であるか否かを判定するように構成されている、
- ことを特徴とする請求項1記載のアンケート説明文生成装置。
- [請求項4] 前記判定部は、前記質問ごとに、当該質問に関して登録された前記情報が含む選択肢の数に基づいて個人情報を扱う質問であるか否かを判定するように構成されている、
- ことを特徴とする請求項1記載のアンケート説明文生成装置。
- [請求項5] アンケートを構成する1以上の質問ごとに、当該質問に関する情報の登録を受け付ける登録手順と、
- 前記質問ごとに、登録された前記情報に基づいて個人情報を扱う質問であるか否かを判定する判定手順と、
- 個人情報を扱う質問であるか否かに応じて異なるテンプレートに前記情報を当てはめて前記アンケートの説明文を生成する生成手順と、
- をコンピュータが実行することを特徴とするアンケート説明文生成方法。

- [請求項6] アンケートを構成する1以上の質問ごとに、当該質問に関する情報の登録を受け付ける登録手順と、
- 前記質問ごとに、登録された前記情報に基づいて個人情報を扱う質問であるか否かを判定する判定手順と、
- 個人情報を扱う質問であるか否かに応じて異なるテンプレートに前記情報を当てはめて前記アンケートの説明文を生成する生成手順と、
- をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

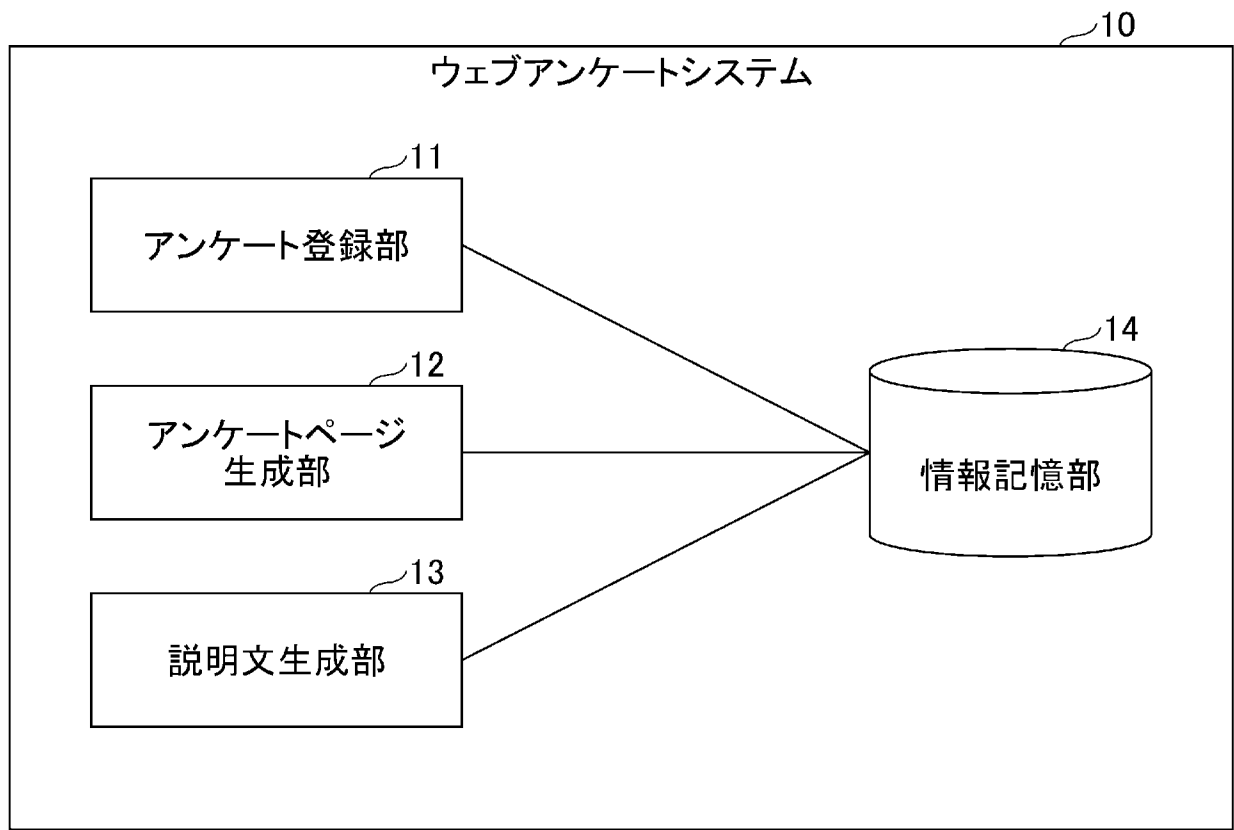
[図1]



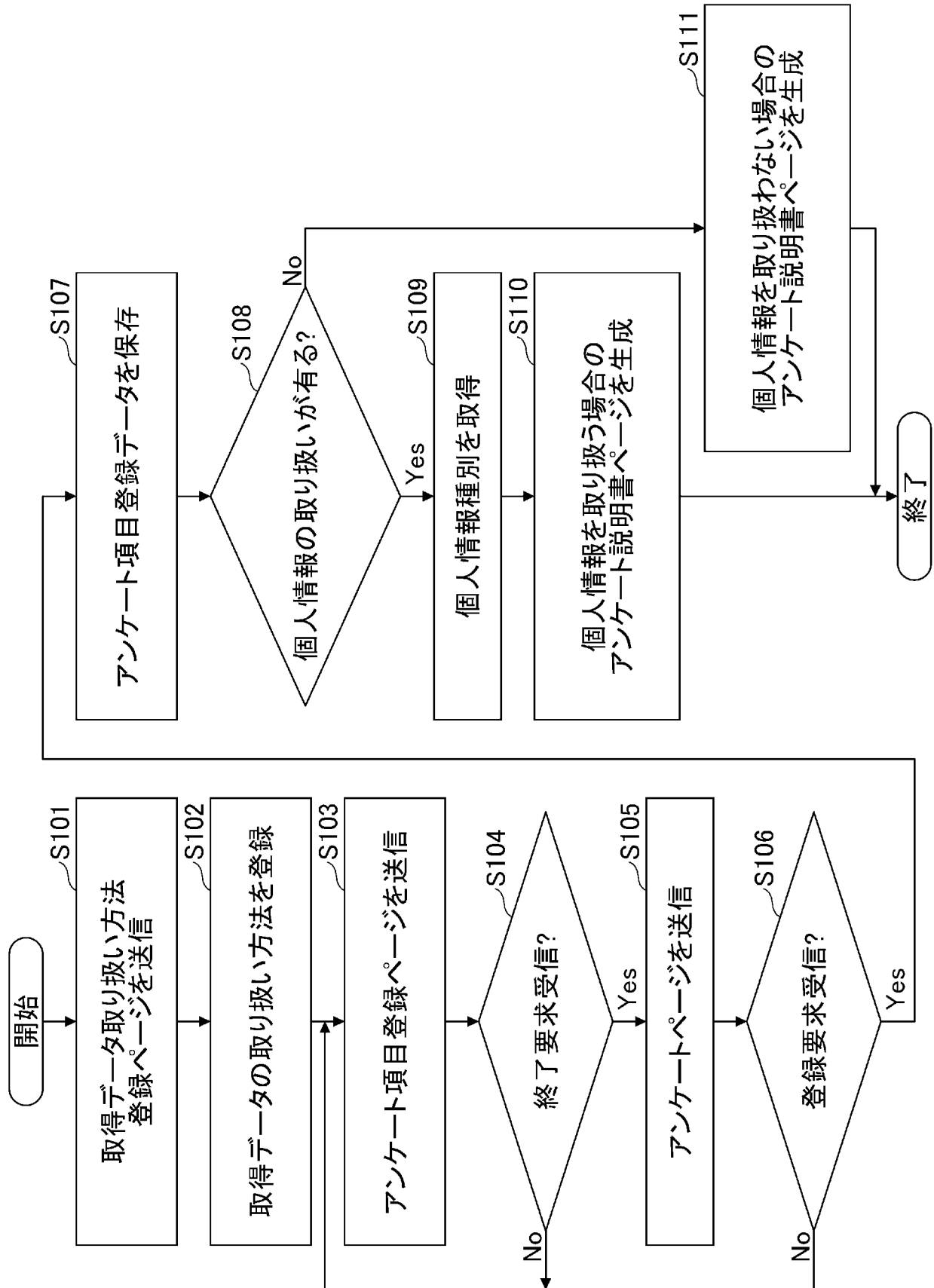
[図2]



[図3]



[図4]



510

511

[図6]

案件 番号	案件名	サーバ種別	責任者	問い合わせ先	取得データ 保持期限	取得データの利用の範囲
1	製品Aに関する アンケート調査	弊社が 管理する 国内サーバ	〇〇□□	XXX@xx.jp	2025年3月31日	お答えいただきました内容は、 弊社の製品の改善のために 利用いたします。それ以外の 目的には利用いたしません。
2	お客様対応に 関する アンケート調査	国外サーバ	△△◇◇	YYY@yy.jp	2025年8月31日	お答えいただきました内容は、 弊社のお客様対応の改善の ために利用いたします。それ 以外の目的には利用いたしま せん。
3	サービスBに 関する アンケート調査	国内サーバ	■●●●	ZZZ@zz.jp	2024年3月31日	お答えいただきました内容は、 弊社のサービスの改善のため に利用いたします。それ以外の 目的には利用いたしません。
...			...	...	...	...

[図7]

質問1

質問文

氏名を教えてください。

520-1

情報種別

☒ 個人情報

☐ 一般情報

個人情報種別

氏名

選択肢数

0

回答形式

☐ 単数選択

☐ 複数選択

☒ 自由記述

選択肢1

選択肢2

選択肢3

選択肢4

選択肢5

次の質問

終了

521

522

[図8]

520-2

質問2

質問文

年齢を教えてください。

情報種別

☒ 個人情報

☐ 一般情報

個人情報種別

年齢

選択肢数

5

回答形式

☒ 単数選択

☐ 複数選択

☐ 自由記述

選択肢1

～20代

選択肢2

30代

選択肢3

40代

選択肢4

50代

選択肢5

60代～

前の質問

次の質問

終了

523521522

[図9]

質問6

質問文

製品Aをどのくらいの頻度で使っていますか

情報種別

☐ 個人情報

☒ 一般情報

個人情報種別

選択肢数

4

回答形式

☒ 単数選択

☐ 複数選択

☐ 自由記述

選択肢1

週1回以下

選択肢2

週2～3回

選択肢3

週4～5回

選択肢4

週6回以上

選択肢5

前の質問

次の質問

終了

520-2

521

522

523

[図10]

530

質問1. 氏名を教えてください。

質問2. 年齢を教えてください。

○ ~20代

○ 30代

○ 40代

○ 50代

○ 60代~

質問3. 性別を教えてください。

○ 女性

○ 男性

○ 答えたくない

質問4. 出身地を教えてください。

○ 北海道・東北

○ 関東・北陸

○ 中部・関西

○ 四国・中国・九州

質問5. 現住所を教えてください。

○ 北海道・東北

○ 関東・北陸

○ 中部・関西

○ 四国・中国・九州

質問6. 製品Aをどのくらいの頻度で使っていますか

○ 週1回以下

○ 週2~3回

○ 週4~5回

○ 週6回以上

質問7. 製品Aの使いやすさはどうですか

○ 使いやすい

○ どちらともいえない

○ 使いにくい

質問8. 製品Aはどこで使いますか(複数選択)

□ キッチン

□ ダイニング

□ リビング

□ 寝室

□ 浴室

531

532

登録

修正

[図11]

項目 番号	質問文	情報 種別	個人 情報 種別	選択 肢数	回答 形式	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5
1	氏名を教えてください。	個人 情報	氏名	0	自由 記述	-	-	-	-	-
2	年齢を教えてください。	個人 情報	年齢	5	単数 選択	～20代	30代	40代	50代	60代～
3	性別を教えてください。	個人 情報	性別	3	単数 選択	女性	男性	答えたく ない	-	-
4	出身地を教えてください。	個人 情報	出身地	5	単数 選択	北海道・ 東北	関東・北陸	中部・関西	四国・中国・ 九州	その他
5	現住所を教えてください。	個人 情報	現住所	5	単数 選択	北海道・ 東北	関東・北陸	中部・関西	四国・中国・ 九州	その他
6	製品Aをどのくらいの 頻度で使っていますか	一般 情報	-	4	単数 選択	週1回以下	週2～3回	週4～5回	週6回以上	-
7	製品Aの使いやすさは どうですか	一般 情報	-	3	単数 選択	使いやすい	どちらとも いいえない	使いにくい	-	-
8	製品Aは どこで使いますか	一般 情報	-	5	複数 選択	キッチン	ダイニング	リビング	寝室	浴室

[図12]

本アンケート調査では、以下のデータを取得します。

ウェブ上のフォームで回答いただきますが、回答データは[サーバ種別]に格納されます。

- 個人情報：[個人情報種別(1)]、[個人情報種別(2)]、[個人情報種別(3)]...

なお、回答時にご提供いただいた[個人情報種別(1)]、[個人情報種別(2)]などの個人情報は取り扱いには十分に注意いたします。なお、個人情報は[取得データ保持期限]に削除します。詳しくは、弊社の個人情報保護方針、個人情報の取り扱いについてのページをご覧ください。

責任者：[責任者]

個人情報保護方針：<https://www.xx.jp/protection/>
個人情報の取り扱いについて：<https://www.xx.jp/privacy/>

調査データの利用の範囲
[取得データの利用の範囲]

問い合わせ先：[問い合わせ先]

以上に同意いただける方は、「同意する」ボタンを押してください。

同意する

同意しない

[図13]

本アンケート調査では、以下のデータを取得します。

ウェブ上のフォームで回答いただきますが、回答データは弊社が管理する国内サーバーに格納されます。

- 個人情報：氏名、年齢、性別、出身地、現住所

なお、回答時にご提供いただいた、氏名・連絡先などの個人情報は取り扱いには十分に注意いたします。
なお、個人情報は2025年3月31日に削除します。詳しくは、弊社の個人情報保護方針、個人情報の取り扱いについてのページをご覧ください。

責任者：○○□□

個人情報保護方針：<https://www.xx.jp/protection/>
個人情報の取り扱いについて：<https://www.xx.jp/privacy/>

調査データの取得・利用の範囲
お答えいただきました内容は、弊社のサービスの改善のために利用いたします。それ以外の目的には利用いたしません。

問い合わせ先：XXX@xx.jp

以上に同意いただける方は、「同意する」ボタンを押してください。

同意する

同意しない

[図14]

本アンケート調査では、以下のデータを取得します。

ウェブ上のフォームで回答いただきますが、回答データは[サーバー種別]に格納されます。情報の取り扱いには十分に注意いたします。

調査データの利用の範囲
[取得データの利用の範囲]

問い合わせ先：[問い合わせ先]

以上に同意いただける方は、「同意する」ボタンを押してください。

同意する

同意しない

[図15]

本アンケート調査では、以下のデータを取得します。 ウェブ上のフォームで回答いただきましたが、回答データは国外サーバーに格納されます。情報の取り扱いには十分に注意いたします。 調査データの取得・利用の範囲 お答えいただきました内容は、弊社のお客様対応の改善のために利用いたします。それ以外の目的には利用いたしません。 問い合わせ先： YYY@yy.jp 以上に同意いただける方は、「同意する」ボタンを押してください。	同意する 同意しない
--	--------------------------

[図16]

質問1

質問文
氏名を教えてください。

選択肢数
0

回答形式
☐ 単数
☐ 複数
☒ 自由記述

選択肢1

選択肢2

選択肢3

選択肢4

選択肢5

次の質問

終了

520a-1

521

522

[図17]

520a-2

質問2

質問文

年齢を教えてください。

選択肢数

5

回答形式

☒ 単数

☐ 複数

☐ 自由記述

選択肢1

～20代

選択肢2

30代

選択肢3

40代

選択肢4

50代

選択肢5

60代～

前の質問

523

次の質問

521

終了

522

[図18]

項目番号	キーワード	重要度
1	氏名	5
2	年齢	4
3	性別	3
4	電話	4
5	FAX	3
6	メールアドレス	4
7	現住所	2
8	出身地	1

[図19]

項目 番号	質問文	情報 種別	個人 情報 種別	重要度	選択 肢数	入力 方法	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5
1	氏名を教えてください。	個人情報	氏名	5	0	自由 記述	-	-	-	-	-
2	年齢を教えてください。	個人情報	年齢	4	5	単数 選択	～20代	30代	40代	50代	60代～
3	性別を教えてください。	個人情報	性別	3	3	単数 選択	女性	男性	答えたくない	-	-
4	出身地を 教えてください。	個人情報	出身地	1	5	単数 選択	北海道・ 東北	関東・北陸	中部・関西	四国・ 中国・九州	その他
5	現住所を 教えてください。	個人情報	現住所	2	5	単数 選択	北海道・ 東北	関東・北陸	中部・関西	四国・ 中国・九州	その他
6	製品Aをどのくらいの 頻度で使っていますか	一般 情報	-	-	4	単数 選択	週1回以下	週2～3回	週4～5回	週6回以上	-
7	製品Aの使いやすさは どうですか	一般 情報	-	-	3	単数 選択	使いやすい	どちらとも いいえない	使いにくい	-	-
8	製品Aは どこで使いますか	一般 情報	-	-	5	複数 選択	キッチン	ダイニング	リビング	寝室	浴室

[図20]

本アンケート調査では、以下のデータを取得します。 ウェブ上のフォームで回答いただきますが、回答データは弊社が管理する国内サーバーに格納されます。 個人情報：氏名、年齢、性別、現住所、出身地 なお、回答時にご提供いただいた、氏名・連絡先などの個人情報は取り扱いには十分に注意いたします。なお、個人情報は2025年3月31日に削除します。詳しくは、弊社の個人情報保護方針、個人情報の取り扱いについてのページをご覧ください。 責任者：○○□□ 個人情報保護方針：https://www.xx.jp/protection/ 個人情報の取り扱いについて：https://www.xx.jp/privacy/ 調査データの取得・利用の範囲 お答えいただきました内容は、弊社のサービスの改善のために利用いたします。それ以外の目的には利用いたしません。 問い合わせ先：XXX@xx.jp 以上に同意いただける方は、「同意する」ボタンを押してください。 同意する 同意しない

[図21]

項目番号	扱う情報	回答形式	選択肢数条件	情報種別
1	年齢	自由記述	-	個人情報
2	年齢	単数選択	5以上	個人情報
3	年齢	単数選択	5未満	一般情報
4	出身地	自由記述	-	個人情報
5	出身地	単数選択	10以上	個人情報
6	出身地	単数選択	10未満	一般情報
7	現住所	自由記述	-	個人情報
8	現住所	単数選択	100以上	個人情報
9	現住所	単数選択	100未満	一般情報
...	...	...	...	...

[図22]

質問2

アンケート質問文

年齢を教えてください。

選択肢数

0

単数選択/複数選択

☐ 単数

☐ 複数

☒ 自由記述

選択肢1

選択肢2

選択肢3

選択肢4

選択肢5

前の質問

次の質問

登録

520b-2

523

521

522

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2022/027026

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**G06Q 10/10**(2012.01)i

FI: G06Q10/10

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q10/00 - 99/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2022

Registered utility model specifications of Japan 1996-2022

Published registered utility model applications of Japan 1994-2022

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2021-125017 A (FREEFORMAT CO LTD) 30 August 2021 (2021-08-30) entire text, all drawings	1-6
A	JP 2002-342552 A (MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD) 29 November 2002 (2002-11-29) entire text, all drawings	1-6
A	JP 2001-344528 A (MASU KK) 14 December 2001 (2001-12-14) entire text, all drawings	1-6
A	WO 2019/234883 A1 (FIRST ASCENT INC) 12 December 2019 (2019-12-12) entire text, all drawings	1-6



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

13 September 2022

Date of mailing of the international search report

20 September 2022

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)

3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915

Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2022/027026

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP	2021-125017	A	30 August 2021	(Family: none)	
JP	2002-342552	A	29 November 2002	(Family: none)	
JP	2001-344528	A	14 December 2001	(Family: none)	
WO	2019/234883	A1	12 December 2019	(Family: none)	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） G06Q 10/10(2012.01)i FI: G06Q10/10		
B. 調査を行った分野		
調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） G06Q10/00 - 99/00		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922 - 1996年 日本国公開実用新案公報 1971 - 2022年 日本国実用新案登録公報 1996 - 2022年 日本国登録実用新案公報 1994 - 2022年		
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2021-125017 A（株式会社フリーフォーマット）30.08.2021（2021 - 08 - 30） 全文, 全図	1-6
A	JP 2002-342552 A（松下電器産業株式会社）29.11.2002（2002 - 11 - 29） 全文, 全図	1-6
A	JP 2001-344528 A（マス株式会社）14.12.2001（2001 - 12 - 14） 全文, 全図	1-6
A	WO 2019/234883 A1（株式会社ファーストアセント）12.12.2019（2019 - 12 - 12） 全文, 全図	1-6
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 “T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 13.09.2022		国際調査報告の発送日 20.09.2022
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		権限のある職員（特許庁審査官） 上田 威 5L 8382 電話番号 03-3581-1101 内線 3562

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2022/027026

引用文献			公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP	2021-125017	A	30.08.2021	(ファミリーなし)	
JP	2002-342552	A	29.11.2002	(ファミリーなし)	
JP	2001-344528	A	14.12.2001	(ファミリーなし)	
WO	2019/234883	A1	12.12.2019	(ファミリーなし)	